

平成29年1月16日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」－平成28年12月度調査－ ～ 「景況感」と「平成28年の振り返り・平成29年の抱負」についてお聞きしました ～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長 工藤 稔）は、全国の中小企業経営者を対象とした毎月のアンケート調査「大同生命サーベイ」を実施しています。
12月は、「平成28年の振り返り」と「平成29年の抱負」をテーマに調査しました。

<調査概要>

調査期間	: 平成28年12月1日（木）～12月28日（水）
調査対象	: 企業経営者（約7割が当社ご契約企業）
調査エリア	: 全国
調査方法	: 当社営業職員が訪問により調査
回答企業数	: 4,306社
調査内容	: ①景況感 ②個別テーマ：「平成28年の振り返り」と「平成29年の抱負」

<ポイント>

■景況感

➢ 「業況DI」は▲5.1pt（前月比+1.8pt）、「将来DI」は7.6pt（前月比+1.2pt）と、いずれも前月から改善しました。

■個別テーマ：「平成28年の振り返り」と「平成29年の抱負」

➢ 平成28年の経営環境の振り返りでは、約3割の経営者が「良かった」、約5割が「普通」、約2割が「悪かった」と回答。「良かった」と回答された理由では、「売上げの拡大」と「利益の拡大」がそれぞれ約3割となりました。

➢ 平成28年の出来事で最も印象に残ったことでは、「米国大統領選（11月）」が約2割と最も多く、次いで「熊本地震（4月）」「日銀によるマイナス金利政策の導入（2月）」「消費税増徴延期（6月）」となりました。

➢ 平成29年の経済に期待することでは、「個人消費の拡大」が3割と最も多く、次いで「公共投資の拡大」「原材料価格の低下」「株価の上昇」となりました。

※業況DI：自社の現在の業況 将来DI：自社の将来（1年後）の業況

以上

<お問合せ先> 広報課 TEL 03-3272-6206

【別紙】

■「大同生命サーベイ」について

当社は、昭和 40 年代から中小企業市場に特化した「独自のビジネスモデル」を通じて、約 36 万社のご契約企業をはじめ、多くの企業経営者さまとの関係を築いてまいりました。

「大同生命サーベイ」は、当社営業職員が経営者のみなさまを訪問し、「景況感」や「経営課題の解決に向けたお取り組み」等に関する“生の声”をお聞きする調査として、平成 27 年 10 月より、全国で実施しています（毎月の回答企業数：約 4,000 社）。

中小企業の多くを占める「小規模企業」にフォーカスした、「毎月」のアンケート調査としての“独自性”を活かし、経営者のみなさまの関心が高いテーマや、経営課題に対する“ヒント”等、有益かつタイムリーな情報提供に努めております。

末筆となりますが、当調査にご賛同いただき、ご協力いただいております経営者のみなさまには、厚くお礼申し上げます。

〔平成 28 年度調査の個別テーマ〕

平成 28 年 12 月	「平成 28 年の振り返り」と「平成 29 年の抱負」
平成 28 年 11 月	中小企業等経営強化法の活用
平成 28 年 10 月	相続対策
平成 28 年 9 月	人材確保
平成 28 年 8 月	災害への備え
平成 28 年 7 月	資金繰り
平成 28 年 6 月	企業の持続的発展に向けた取組み
平成 28 年 5 月	経営者の労働実態と生産性向上に向けた取組み
平成 28 年 4 月	地域経済との関わり

➤ 「大同生命サーベイ」のバックナンバーを、大同生命 Web サイトでご覧いただけます。

<http://www.daido-life.co.jp/about/info/topics/survey/>

※ 「大同生命サーベイ」で検索ください。

中小企業調査
『大同生命サーベイ』
月次レポート

－ 平成28年12月度調査 －

 **大同生命保険株式会社**

【調査概要・回答企業に関するデータ】

➢調査期間	： 平成28年12月1日(木)～12月28日(水)	
➢調査対象	： 全国の企業経営者(うち約7割が当社ご契約企業)	
➢調査方法	： 当社営業職員が訪問により調査	
➢回答企業数	： 4,306社	
➢調査内容	： 1. 景況感 2. 「平成28年の振り返り」と「平成29年の抱負」	

<回答企業の属性>

地域	業種	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	サービス業	その他	無回答
合計		4,306	901	933	898	1,237	267	70
	北海道	139	21	34	27	44	12	1
	東北	234	31	64	44	73	17	5
	北関東	378	94	85	79	101	14	5
	南関東	982	169	202	206	338	44	23
	北陸・甲信越	406	123	84	73	83	33	10
	東海	436	127	86	84	103	32	4
	関西	696	183	115	160	186	45	7
	中国	198	43	45	43	51	12	4
	四国	135	24	38	37	29	7	0
	九州・沖縄	702	86	180	145	229	51	11

従業員規模	企業数 (占率)
5人以下	1,662 (38.6)
6～10人	944 (21.9)
11～20人	758 (17.6)
21人以上	863 (20.0)
無回答	79 (1.8)

創業年数	企業数 (占率)
10年未満	401 (9.3)
10～30年未満	1,127 (26.2)
30～50年未満	1,380 (32.0)
50～100年未満	1,144 (26.6)
100年以上	161 (3.7)
無回答	93 (2.2)

年齢	企業数 (占率)
40歳未満	262 (6.1)
40歳代	942 (21.9)
50歳代	1,130 (26.2)
60歳代	1,304 (30.3)
70歳以上	587 (13.6)
無回答	81 (1.9)

性別	企業数 (占率)
男性	4,027 (93.5)
女性	279 (6.5)

※当資料で表示する回答率(%)等は、小数点第1位(回答企業の属性の占率および景況感)は小数点第2位)を四捨五入した値を使用しています。

※特に記載がない場合、「無回答」を除いた集計をしています。

※本調査は、当社ご契約企業を中心に実施しており、各調査結果に若干の偏りが生じる場合があります。

— ご利用にあたって —

- ・本資料は、「大同生命サーベイ」の調査結果の開示を目的としており、当社の統一した見解を示すものではありません。
- ・本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。引用する際は、「出所：大同生命サーベイ(発行時期)」と明記ください。
- ・本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。
- ・本資料は、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

<12月度調査のポイント>

■景況感

➢「業況DI」は▲5.1pt(前月比+1.8pt)、「将来DI」は7.6pt(前月比+1.2pt)と、いずれも前月から改善しました。

■個別テーマ：「平成28年の振り返り」と「平成29年の抱負」

➢平成28年の経営環境の振り返りでは、約3割の経営者が「良かった」、約5割が「普通」、約2割が「悪かった」と回答。「良かった」と回答された理由では、「売上げの拡大」と「利益の拡大」がそれぞれ約3割となりました。

➢平成28年の出来事で最も印象に残ったことでは、「米国大統領選(11月)」が約2割と最も多く、次いで「熊本地震(4月)」「日銀によるマイナス金利政策の導入(2月)」「消費税率引上げ延期(6月)」となりました。

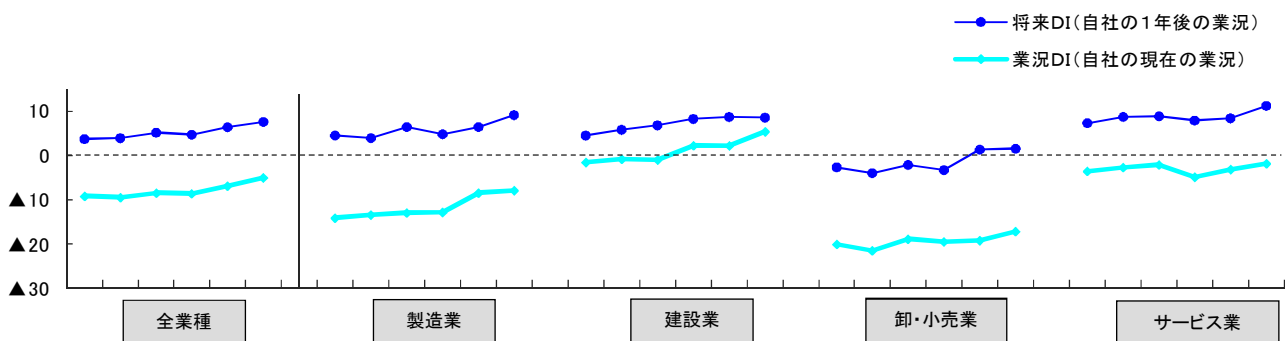
➢平成29年の経済に期待することでは、「個人消費の拡大」が約3割と最も多く、次いで「公共投資の拡大」「原材料価格の低下」「株価の上昇」となりました。

1. 景況感

- ・「業況DI」は▲5.1pt(前月比+1.8pt)と前月から改善。業種別では、ほぼ横ばいとなった「製造業」を除く3業種が改善しました。
- ・「将来DI」は7.6pt(前月比+1.2pt)と前月から改善。業種別では、「製造業」「サービス業」が改善しました。
- ・対前年同月比では「売上DI」「資金繰りDI」「利益DI」のいずれも前月からほぼ横ばいとなりました。

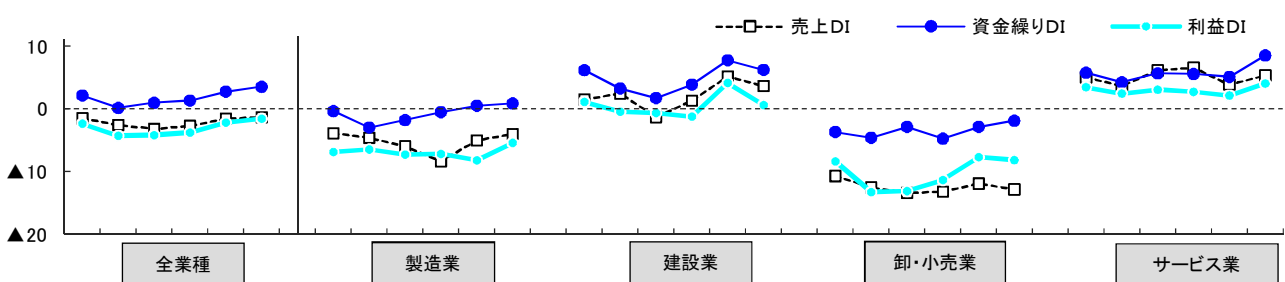
(1) 現在の業況と将来の見通し

(単位:pt)



(2) 対前年同月比

(単位:pt)



(単位:pt)

	全業種					製造業					建設業					卸・小売業					サービス業								
	7月	8月	9月	10月	11月	7月	8月	9月	10月	11月	7月	8月	9月	10月	11月	7月	8月	9月	10月	11月	7月	8月	9月	10月	11月				
業況DI	▲9.2	▲9.5	▲8.5	▲8.6	▲6.9	▲5.1	▲14.1	▲13.5	▲13.0	▲12.9	▲8.5	▲8.0	▲1.6	▲0.8	▲1.0	2.2	2.1	5.4	▲20.1	▲21.5	▲18.9	▲19.6	▲19.3	▲17.2	▲3.6	▲2.7	▲2.1	▲5.0	▲3.2
将来DI	3.7	3.9	5.1	4.7	6.4	7.6	4.5	3.9	6.4	4.7	6.5	9.1	4.5	5.8	6.8	8.3	8.7	8.5	▲2.7	▲4.0	▲2.2	▲3.4	1.3	1.5	7.3	8.7	8.8	7.8	8.4
売上DI	▲1.5	▲2.6	▲3.2	▲2.7	▲1.6	▲1.4	▲3.9	▲4.6	▲6.0	▲8.3	▲5.0	▲4.0	1.5	2.4	▲1.3	1.3	5.1	3.6	▲10.7	▲12.5	▲13.4	▲13.2	▲11.9	▲12.8	5.0	3.6	6.1	6.5	3.8
資金繰りDI	2.1	0.1	0.9	1.3	2.7	3.5	▲0.4	▲3.0	▲1.8	▲0.5	0.5	0.8	6.1	3.2	1.7	3.8	7.7	6.2	▲3.7	▲4.6	▲2.9	▲4.8	▲2.9	▲1.9	5.7	4.2	5.6	5.5	5.1
利益DI	▲2.4	▲4.3	▲4.2	▲3.8	▲2.2	▲1.6	▲6.9	▲6.5	▲7.3	▲7.2	▲8.2	▲5.4	1.1	▲0.5	▲0.7	▲1.3	4.1	0.6	▲8.4	▲13.3	▲13.1	▲11.3	▲7.7	▲8.2	3.4	2.4	3.0	2.7	2.1

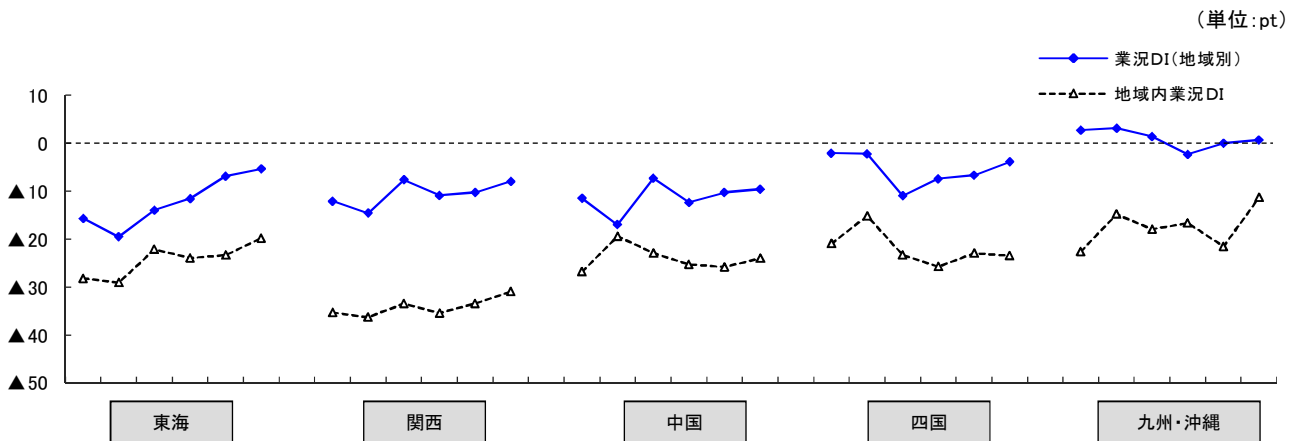
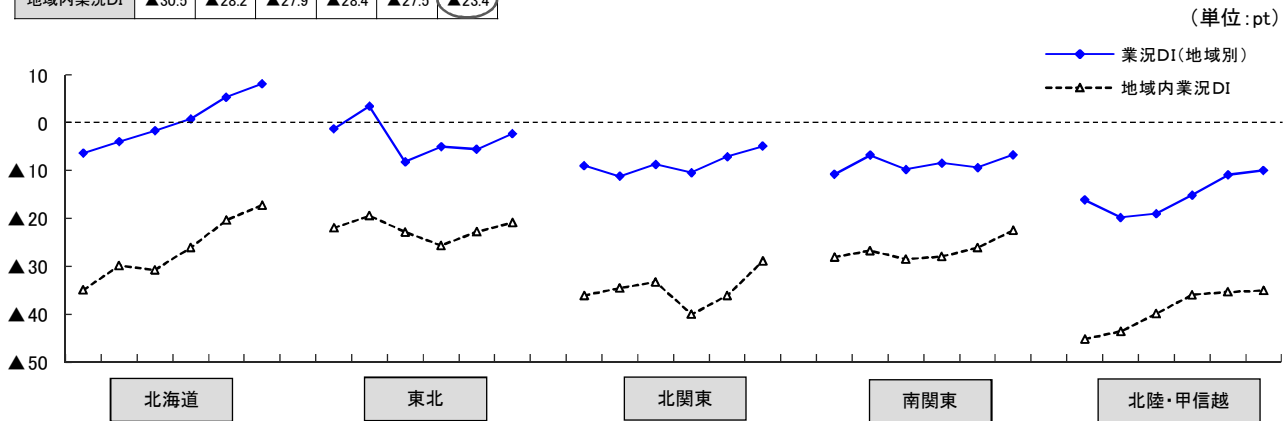
(3) 業況DI(地域別)と地域内業況DI

- ・「業況DI(地域別)」は10地域全てで改善しました。「北海道」(前月比+2.8pt)と「九州・沖縄」(前月比+0.6pt)でプラスの値となり、特に「北海道」では7カ月連続で改善しています。
- ・「地域内業況DI(回答企業が属する地域の景況感)」は全国平均で▲23.4pt(前月比+4.1pt)と改善。地域別では、「四国」(前月比▲0.5pt)を除く9地域が改善しました。

<全国平均> (単位: pt)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業況DI(地域別)	▲9.2	▲9.5	▲8.5	▲8.6	▲6.9	▲5.1
地域内業況DI	▲30.5	▲28.2	▲27.9	▲28.4	▲27.5	▲23.4

(※) 地域別の景況感は、地域ごとのサンプル数の格差を補完するため、回答企業が属する地域の景況感(地域内業況DI)をあわせて表示しています。



(単位: pt)

	北海道						東北						北関東						南関東						北陸・甲信越					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業況DI(地域別)	▲6.4	▲4.0	▲1.7	0.8	5.3	8.1	▲1.3	3.4	▲8.2	▲5.0	▲5.6	▲2.3	▲9.0	▲11.2	▲8.7	▲10.4	▲7.1	▲4.9	▲10.8	▲6.8	▲9.8	▲8.4	▲9.4	▲6.7	▲16.1	▲19.8	▲19.0	▲15.2	▲10.9	▲10.0
地域内業況DI	▲34.9	▲29.8	▲30.7	▲26.0	▲20.3	▲17.2	▲21.9	▲19.4	▲22.8	▲25.6	▲22.7	▲20.8	▲36.0	▲34.5	▲33.2	▲39.9	▲36.0	▲28.8	▲28.0	▲26.7	▲28.5	▲27.8	▲26.1	▲22.4	▲45.1	▲43.5	▲39.8	▲35.9	▲35.3	▲35.0

	東海						関西						中国						四国						九州・沖縄					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業況DI(地域別)	▲15.7	▲19.5	▲14.0	▲11.6	▲6.9	▲5.3	▲12.1	▲14.6	▲7.6	▲10.9	▲10.3	▲7.9	▲11.5	▲17.0	▲7.3	▲12.4	▲10.3	▲9.7	▲2.1	▲2.2	▲11.0	▲7.4	▲6.7	▲3.9	2.7	3.1	1.4	▲2.3	0.0	0.6
地域内業況DI	▲28.2	▲29.1	▲22.1	▲23.9	▲23.3	▲19.8	▲35.3	▲36.3	▲33.4	▲35.4	▲33.4	▲31.0	▲26.8	▲19.4	▲22.9	▲25.2	▲25.8	▲24.0	▲20.9	▲15.2	▲23.3	▲25.8	▲22.9	▲23.4	▲22.6	▲14.8	▲17.9	▲16.7	▲21.5	▲11.3

※DIとは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、好転(増加・上昇)したとする回答割合から、悪化(減少・低下)したとする回答割合を差し引いた値です。好転と悪化の割合が等しい場合、0となります。

$$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

2. 個別テーマ(「平成28年の振り返り」と「平成29年の抱負」)

Q1: 平成28年の経営環境はいかがでしたか？また、その理由は何ですか？

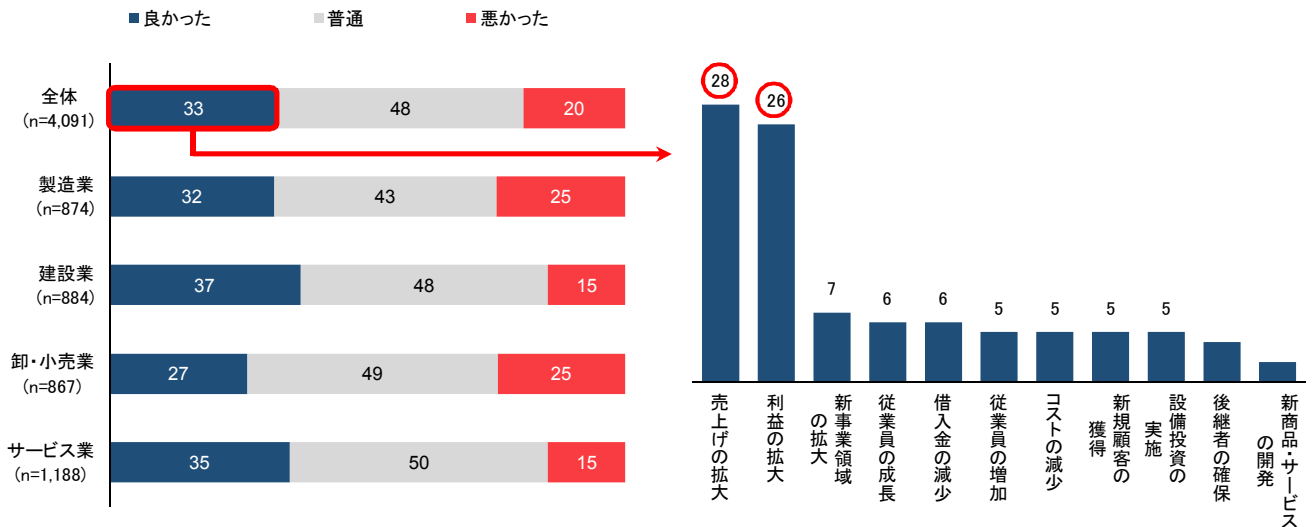
- ・約3割の経営者が「良かった」、約5割が「普通」、約2割が「悪かった」と回答。
- ・「良かった」と回答された理由では、「売上げの拡大」と「利益の拡大」がそれぞれ約3割となりました。

①平成28年の経営環境の振り返り

(単位: %)

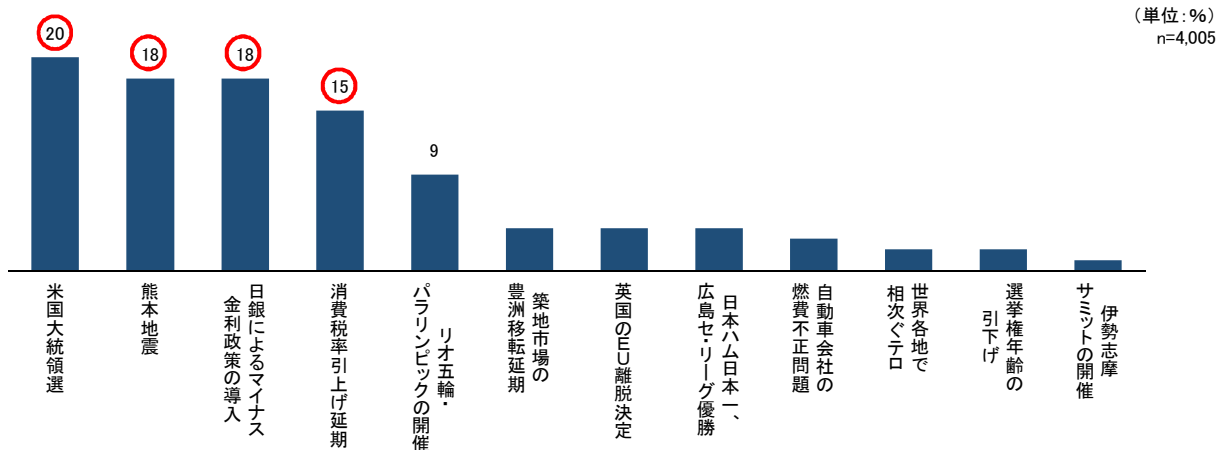
②「良かった」理由

(単位: %)
n=1,304



Q2: 平成28年の出来事のうち、最も印象に残っているものは何ですか？

- ・「米国大統領選(11月)」が約2割と最も多く、次いで「熊本地震(4月)」「日銀によるマイナス金利政策の導入(2月)」「消費税率引上げ延期(6月)」となりました。



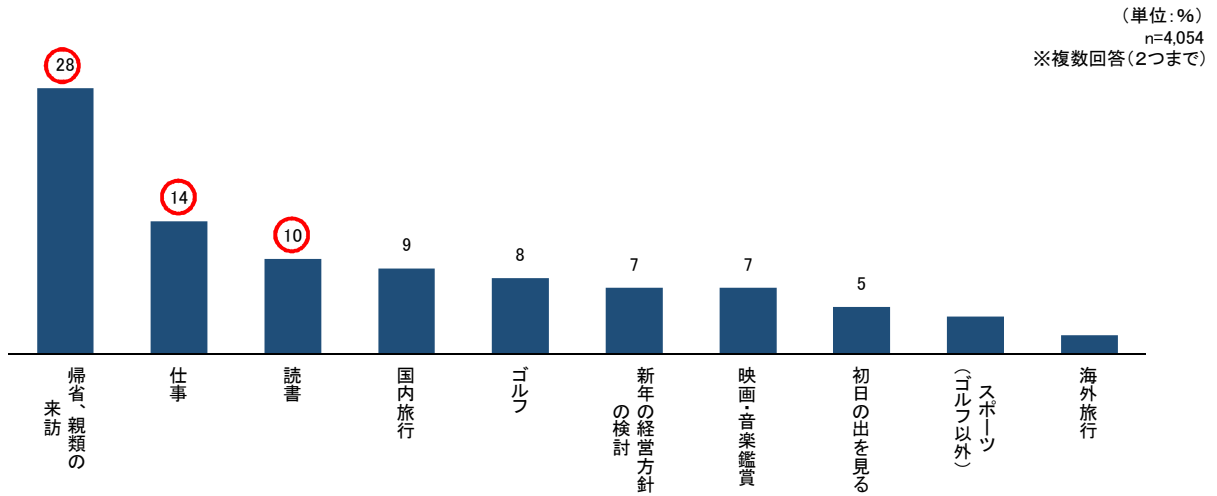
Q3: 平成28年、最も印象に残った書籍は何ですか？

- ・映画化された話題作『海賊とよばれた男』、田中角栄元首相の人生を描いた『天才』を挙げる経営者が多くなりました。

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| 1位 海賊とよばれた男(百田 尚樹) | 7位 田中角栄100の言葉(別冊宝島編集部) |
| 2位 天才(石原 慎太郎) | 8位 住友銀行秘史(國重 惇史) |
| 3位 カエルの楽園(百田 尚樹) | 8位 陸王(池井戸 潤) |
| 4位 嫌われる勇氣 | 10位 永遠の0(百田 尚樹) |
| 自己啓発の源流「アドラー」の教え(岸見 一郎・古賀 史健) | 10位 小説 君の名は。(新海 誠) |
| 5位 コンビニ人間(村田 沙耶香) | 10位 真田丸(NHK出版) |
| 5位 火花(又吉 直樹) | 10位 村上海賊の娘(和田 竜) |

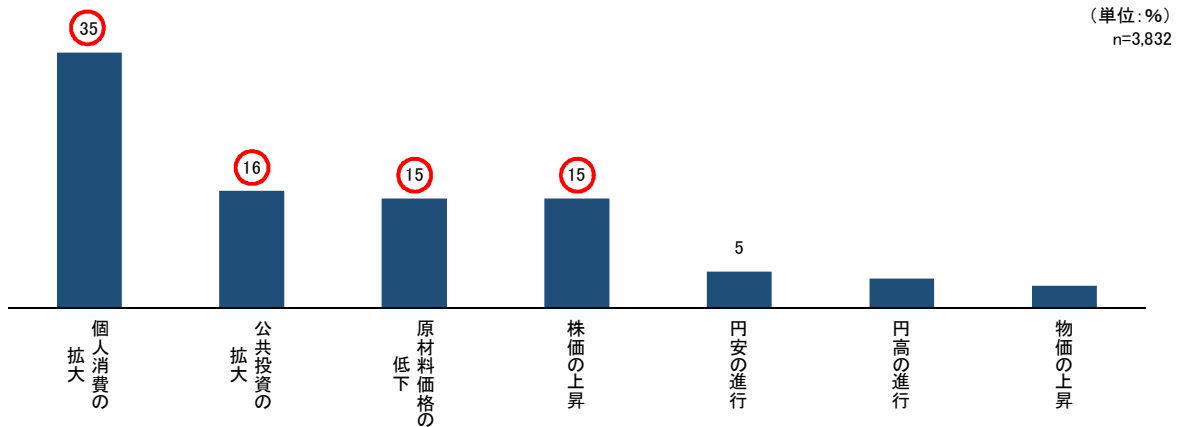
Q4: 年末年始はどのように過ごされましたか？

・「帰省、親類の来訪」が約3割と最も多く、次いで「仕事」「読書」となりました。



Q5: 平成29年の経済に何を期待されますか？

・「個人消費の拡大」が3割と最も多く、次いで「公共投資の拡大」「原材料価格の低下」「株価の上昇」となりました。



Q6: 平成29年の抱負は何ですか？

・「健康第一」が最も多く、次いで「新規事業の開拓」「売上・利益の拡大」となりました。

1位 健康第一	6位 新規顧客の獲得
2位 新規事業の開拓	7位 後継者の確保・育成
3位 売上・利益の拡大	8位 業務の効率化
4位 従業員の確保・育成	9位 設備投資の実施
5位 現状維持	10位 借入金の返済



本社(大阪) 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目2番1号
 電話 06-6447-6111(代表)
 (東京) 〒103-6031 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
 電話 03-3272-6777(代表)
<http://www.daido-life.co.jp/>